

## 黒姫山東面スキー

2008、2、24(雪)

メンバー L 菊地、他 1 名

当初、白馬方面のスキーツアーに行く予定だったが、横殴りの雪と風で標高の低い黒姫山に転進する事にした。

黒姫高原スキー場から1本目のリフトに乗り2本目に乗ろうとしたが、除雪作業の為まだ動いていなく、結局1時間も待たされる。

雪の降る中、かつてゲレンデだったオープンバーンを他の3人パーティと共にシールで上がるが、そこそこの傾斜があり雪崩の恐怖に怯えながら膝程度のラッセルが続く。

不自然なオープンバーンを抜けると樹林の緩やかな尾根となり時折腰ラッセルとなるが滑りの期待が膨らむ。やや樹林が多い所もあるが、雪質はまずまず。高度を上げるにつれ傾斜が急になってくるが、幸い風は弱まり、ゲレンデトップから3時間程でようやく稜線に出る。スキーを外すと腹まで埋まってしまう。天気が悪いので長居は無用だ。



ピットを掘り弱層テストするが、硬い粗目層の上に新雪が1m以上乗っている。滑り出すと頻繁にスラフが流れ落ち、仲間を巻き込まないように注意しながら滑る。稜線から離れるとスラフも落ち着きパウダーランを思い思いに楽しむ。ファットスキーをチョイスした相棒は雪面を舐める様気持ち良さそうに視界から消え、セミファットのこちらは時折腰まで潜り浮遊感を味わう。そこそこの傾斜があるので、下りラッセルになる事は無い。

はっきりしない支尾根を乗り換えながら、程なくして1396mの平坦地に乗り第1ステージ終了。若干登り勾配の丘状をシールなしで越えると標高差400mの滑りの始まり。ややブッシュが増えるが、スキー場に合流するまで、相変わらず雪質は最高だった。

### コースタイム

リフトトップ9:50~2000m稜線

13:00・13:25~1396m13:

50・14:00~スキー場14:30

地形図 : 高妻山、信濃柏原

